



associazione italo-giapponese di fukuoka

福岡日伊協会主催

STORIA DELL'ARTE ITALIANA

「イタリア美術への招待－14世紀の死生観」



危機の14世紀。教皇のアヴィニョン捕囚（1309 - 1377年）と教会大分裂（1374 - 1417年）、百年戦争（1339 - 1453年）、ペストの大流行（1347 - 1352年）によって混迷を極めた中世後期の1世紀をこのように呼ぶことがあります。この三大危機、とりわけペストの流行による死亡率の増加は、「死」に対する態度に変更を迫りました。当時の人々は死や病をどのように捉え、それを乗り越えようとしたのでしょうか。

毎回大好評の荒木文果先生による美術セミナー。待望の第三弾は14世紀のイタリアの死生観について、お話いただきます。

セミナーでは、まず14世紀に死に対する考え方が大きく変容したことを示す美術について紹介し、未曾有のカタストロフであったペストに注目。特にフィレンツェのオルサンミケーレ聖堂にあるベルナルド・ダッディ作《聖母子》像がペスト流行時に果たした役割について考えます。最後に、ペトラルカの『凱旋』を絵画化した図像から、当時の人々が「死」を乗り越えるために何を考えていたかを探ります。どうぞお楽しみに。

日時：2016年8月5日（金）18:30～20:00

会場：博多座・西銀ビル13F「セミナー室」

【住所】福岡市博多区福岡市博多区下川端町2-1 (地下鉄)中洲川端駅 下車 7番出口

【電話】092-282-2662

(西鉄バス)川端町下車

会費：(会員) 無料 / (非会員) 1,000円 **先着30名**

講師：荒木 文果 氏

慶應義塾大学専任講師（美術史）。九州大学で美術史を専攻。同大学大学院修士課程を経て、2007年よりローマ第一大学美術史学科に留学。2012年に、ローマ大学美術史学科にて博士号を取得。2013年、鹿島美術財団『財団賞』を受賞。東京大学に日本学術振興会特別研究員として在籍後、2015年より現職。

お問合せ先：福岡日伊協会 電話092-476-2153

FAX092-476-2634

(西日本シティ銀行内 担当：井口^{いのうち})

FAX 092-476-2634

福岡日伊協会 行

美術セミナー申込書【8月5日開催】

御氏名 _____ (会員・非会員)

御住所 _____

TEL _____ FAX _____

※御同伴者がいらっしゃる場合は、こちらに○印等ご記入ください。

御同伴者名 _____ (会員・非会員)

御同伴者名 _____ (会員・非会員)

イタリア美術についてのご質問等あればご記入ください。

※当日キャンセルは全額ご負担いただきます。

お預かりした個人情報につきましては、厳重に管理し、当協会からのご案内に限り使用させていただきます。

いかなる場合でも第三者への提供は行いませんので、予めご了承ください。

福岡日伊協会 *associazione italo-giapponese di fukuoka*
(西日本シティ銀行 広報文化部 内)